



株式会社会津野菜



代表取締役
永井 洋彦さん

住 所 福島県耶麻郡西会津町奥川大字豊島字下松2399
 T E L 0241-49-2022
 F A X 03-3751-5851
 i n f o aizu-yasai.jp
 U R L https://aizu-yasai.jp/
 創 業 2019年12月5日
 事業内容 会津地方(西会津・喜多方)の契約農家より仕入れた農産物をネットを介し、全国へ販売

採れたての会津の野菜を全国へ！

「株式会社会津野菜」では 会津地方(西会津・喜多方)の契約農家より仕入れた農産物のネット販売を手がけています。「新鮮な、安全・安心の野菜を」をモットーに、会津産の米や野菜をセット販売。一般の消費者はもちろん、ふるさと納税の返礼品やギフト、「日本橋ふくしま館MIDETTE」への卸、飲食店向けなど幅広い販路を通じて全国へと届けています。「生産者、消費者、事業者の三方にメリットが生まれるようにし、また地域契約

農家の所得向上、地域の農業産出額の向上、地域雇用の創出、復興支援対策を図り、地域活性化にも寄与していきたい」と語るのは、代表の永井さん。現状では流通経路により中3日以上かかっている野菜を翌日配送することで、新鮮さを保ったまま届けることができるのが何よりの強み。また、単なる野菜詰め合わせではなく、会津独自の野菜や風土を活かした商品(例:栽培うど・茎立ち菜・アスパラ・つるむらさき・長人参・雪下キャベツなど)にもこだわっています。

ニーズの高まりに応え、ブランド化を目指す

前職で農林水産省の教育ファーム事業を受託し、首都圏の学校や企業へアンケート調査を行ったという永井さん。その中で見えてきたのは都市圏に住む人々の、田舎暮らし、農業体験への憧れでした。同時に彼らの多くは消費する野菜や米にも高い関心を払い、産直で新鮮、安心安全なものを求めている傾向があることも分かったそう。特に福島県に対しては「購入応援をしたい」という結果が85.3%にものぼりました(2014年・オイシックス調べ)。ニーズはあるのに、それを届ける機会、流通、手段がないと気づいた永井さんは、2019年に「株式会社会津野菜」を創業。ホームページでのPR、イベント出展などに力を入れることで購入者を増やしてきました。

「都市圏生活者のニーズの高まりに対応することで、県産(会津地方)野菜の販促、拡販に繋がり、風評被害対策にも繋がると考えています」

「会津野菜」を運営する中で、励みになる購入者のリアルな反応です。「普段購入しない野菜が入っていて、見た目も楽しく、おいしかったです」「箱を開けた時、野菜が盛りだくさんで感動しました」などの声を聞く度に、会津産の野菜のポテンシャルを感じるという永井さん。これらの声は生産者とも共有し、作付けや栽培計

画にも活かしていると言います。現在はTV番組の料理コーナーなどで活躍する山田剛嗣シェフ監修のオリジナルレシピ開発のほか、会津山塩との協業なども進行中。いずれは、会津野菜を京野菜や鎌倉野菜のような全国区のブランドになるよう育てていくことを目標に、事業に取り組んでいます。



会津の独特で特徴ある農産物を全国に届ける！